

2024 TAKISHIN REPORT

たきしん上半期レポート



オリジナルキャラクター
たきかわくん

業績のご報告

たきしんの2024年度上半期の業績をお知らせいたします。

預金積金残高

6,807億円

預金積金残高の推移

6,831

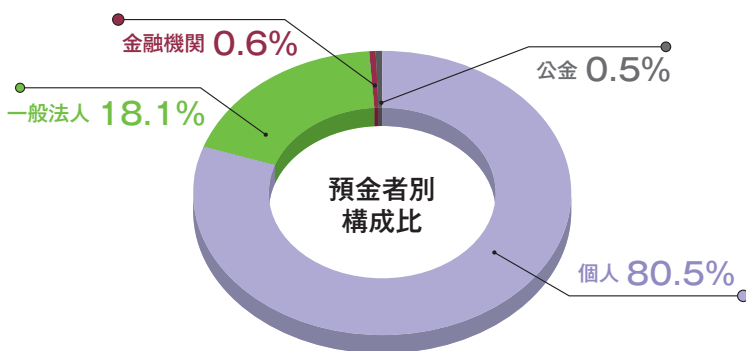
6,807

2024年3月末

2024年9月末

(単位: 億円)

預金積金残高は、普通預金は増加しましたが、定期預金の減少を主な要因として、前期末比23億円減少しました。



(2024年9月末現在)

貸出金残高

3,606億円

貸出金残高の推移

3,580

3,606

2024年3月末

2024年9月末

(単位: 億円)

貸出金残高は、個人事業主・法人のお客さまへの設備資金の増加を主な要因として、前期末比25億円増加しました。

●業種別貸出金残高と構成比

(単位: 百万円)

業 種	2024年3月末		2024年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	33,180	9.2%	32,113	8.9%
農業、林業	59	0.0%	63	0.0%
建設業	29,622	8.2%	28,431	7.8%
情報通信業	1,335	0.3%	1,319	0.3%
運輸業、郵便業	10,065	2.8%	10,416	2.8%
卸売業、小売業	19,994	5.5%	19,546	5.4%
金融業、保険業	9,876	2.7%	9,895	2.7%
不動産業	160,243	44.7%	167,233	46.3%
物品賃貸業	430	0.1%	426	0.1%
学術研究、専門・技術サービス業	2,244	0.6%	1,871	0.5%
宿泊業	2,092	0.5%	2,009	0.5%
飲食業	1,581	0.4%	1,509	0.4%
生活関連サービス業、娯楽業	2,026	0.5%	1,941	0.5%
教育、学習支援業	1,492	0.4%	1,530	0.4%
医療、福祉	3,823	1.0%	3,542	0.9%
その他のサービス	8,968	2.5%	8,096	2.2%
小 計	287,038	80.1%	289,947	80.4%
地方公共団体	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	71,033	19.8%	70,679	19.5%
合 計	358,071	100.0%	360,627	100.0%

(注)業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

有価証券残高

1,446億円

有価証券残高の推移

1,462

1,446

2024年3月末

2024年9月末

(単位: 億円)

● その他
● 株式
● 債券

有価証券残高は、将来の金利上昇リスクを考慮し、長期債投資に慎重に対応した結果、前期末比16億円減少しました。

●有価証券の時価情報

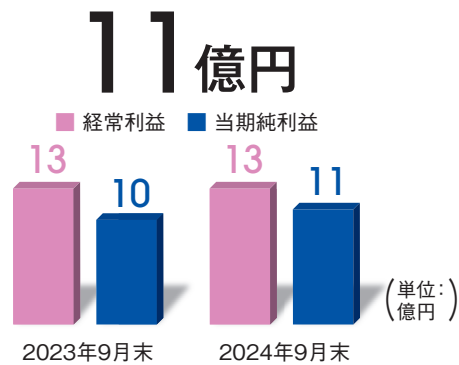
(単位: 百万円)

満期保有目的の債券で時価のあるもの	2024年3月末			2024年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	14,707	14,832	124	9,985	10,051	66
その他	2,200	2,221	21	3,300	3,307	7
小計	16,907	17,053	146	13,285	13,358	73
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	27,116	26,265	△850	31,825	30,738	△1,087
債券	27,116	26,265	△850	31,825	30,738	△1,087
その他	11,563	10,844	△718	10,965	10,151	△813
小計	38,680	37,110	△1,569	42,791	40,889	△1,901
合 計	55,587	54,164	△1,423	56,076	54,248	△1,827

その他有価証券で時価のあるもの	2024年3月末			2024年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	7,880	7,638	242	7,031	6,838	192
債券	7,880	7,638	242	7,031	6,838	192
その他	8,697	8,134	562	10,646	10,057	589
小計	16,578	15,772	805	17,677	16,895	782
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	65,369	66,689	△1,320	64,240	65,785	△1,545
債券	65,369	66,689	△1,320	64,240	65,785	△1,545
その他	9,200	9,851	△651	6,966	7,500	△533
小計	74,570	76,541	△1,971	71,206	73,285	△2,079
合 計	91,148	92,314	△1,166	88,884	90,181	△1,297

(注)債券は、国債、地方債、短期社債、社債の合計です。時価情報には、買入金銭債権を含んでいます。

当期純利益



当期純利益は、預け金利息や貸出金利息などの資金運用収益の増加を主な要因として、前年同期比0.9億円増加しました。

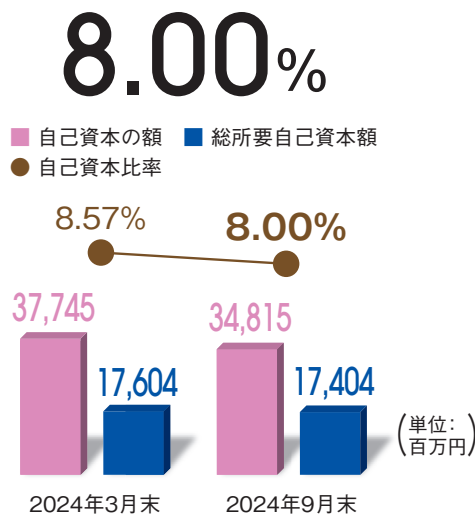
●業務純益

(単位: 百万円)

	2023年9月末	2024年9月末
業務純益	1,285	1,563
実質業務純益	1,285	1,526
コア業務純益	1,285	1,526
コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	1,285	1,526

(注) 1. 業務純益＝業務収益－(業務費用－金銭の信託運用見合費用)
 2. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額
 3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益

自己資本比率



自己資本比率は、優先出資の買入消却を行ったことを主な要因として、前期末比0.57ポイント低下しましたが、国内基準の4%を大きく上回っております。

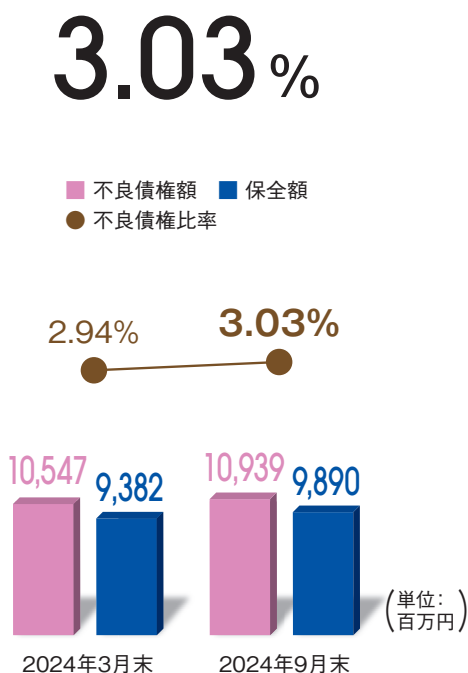
●自己資本の構成

(単位: 百万円)

	2024年3月末	2024年9月末
コア資本に係る基礎項目の額①	40,491	37,610
コア資本に係る調整項目の額②	2,746	2,795
自己資本の額③＝①－②	37,745	34,815
リスク・アセット等の合計額④	440,117	435,104
うち経過措置による算入額	0	0
自己資本比率③／④	8.57%	8.00%
総所要自己資本額④×4%	17,604	17,404

(注) 自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成18年金融庁告示第21号)に定められた算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

不良債権比率



不良債権比率は、不良債権額の増加を主な要因として、前期末比0.09ポイント上昇しました。なお、担保や保証、貸倒引当金による保全率は、90.40%と前期末比1.45ポイント上昇しております。

●信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の内訳

(単位: 百万円)

	2024年3月末		2024年9月末	
	債権額	保全率	債権額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権①	998	100.00%	1,715	100.00%
危険債権②	9,526	87.79%	9,202	88.60%
要管理債権③	23	92.88%	22	96.84%
三月以上延滞債権	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	23	92.88%	22	96.84%
小計④＝①＋②＋③	10,547	88.95%	10,939	90.40%
正常債権⑤	347,897		349,881	
総与信額⑥	358,444		360,820	
不良債権比率④／⑥	2.94%		3.03%	

(注) 上記の計数は「信用金庫法施行規則」第132条第5号ロ及び「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法が以下の点につき年度末の開示とは異なっております。

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」の金額は、3月末から9月末までに倒産・不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更と認められる額を反映しております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」の金額は、3月末から9月末までの増減額及び担保処分見込額の変動を勘案しております。更に、「要管理債権」の金額は3月末から9月末までの増減額を勘案しております。

個人のお客さまへ



将来のための資産形成

● 個人型確定拠出年金 (iDeCo)

お客さまがゆとりあるセカンドライフを迎えるお手伝いをするため、個人型確定拠出年金 (iDeCo) をご用意しています。(運営管理機関:損保ジャパンDC証券(株))

● 投資信託

運用益が非課税となるNISA制度(成長投資枠・つみたて投資枠)を利用できる商品をはじめ、お客さまの運用ニーズに合わせた数々の商品をご用意しています。



お客さまのライフステージをサポート

● 個人向けローン

住宅の購入やリフォーム、マイカーの購入、お子さまの就学に関する費用など、お客さまのニーズに合わせた各種ローン商品をご用意しています。また、急なご入用、さまざまな使いみちに利用可能なフリーローン「たきしんスマートライフ」などもご用意しています。

● 相続準備・贈与

こころのボタン(しんきん相続信託)

ご本人に万が一のことがあったときに、ご家族が必要となる資金をすぐに受取ることができます。

こころのリボン(しんきん暦年信託)

年間110万円までの贈与税の非課税枠を活用したご家族への生前贈与の手続きをサポートします。

取扱開始のご案内

START



不動産担保ローンWeb申込開始

本年7月1日より、(株)セゾンファンデックスの保証付商品である「たきしんパーソナルワイド」・「たきしんビジネスワイド」のWeb仮審査申込の取り扱いを開始しました。

旧紙幣ありがとう定期預金

本年8月1日より、旧紙幣(福沢諭吉デザインの旧一万円札)の受け入れで、金利0.2930%(フクザワ)となる定期預金の取り扱いを開始しました。

個人事業主・法人のお客さまへ



東京経営サポートネットワーク

東京経営サポートネットワークは、関東経済産業局の認定を受けた、官民協働の7機関からなるたきしんを代表機関とした地域プラットフォームです。補助金活用、販路拡大、事業承継等のさまざまな経営課題に応じた適切な専門家とお客さまとのマッチングや専門家派遣によるアドバイスも行っています。

金庫内ビジネスマッチング

お取引いただいているお客さま同士のマッチングを行っています。「外注先を紹介してほしい」「販売先を紹介してほしい」「こんな仕事をしてくれる先はないだろうか」といったご要望を金庫内マッチング情報共有サイトに掲載して全職員に公開し、全店のお客さまの中から対応可能な方をご紹介します。

SDGsに関する取組み



【北区×たきしん】 熱中症対策グッズ配布

北区環境課と連携し、区内6店舗において熱中症対策グッズを配布し、熱中症予防の呼びかけを行いました。



CO₂排出削減・脱炭素への取組支援

お客さまのCO₂排出量の削減・脱炭素化への取組みを支援するため、一括で購入しにくい省エネ設備などを初期投資0円、月々の固定料金のみで導入できるサービス「ネクシーズZERO」を提供する(株)NEXYZと業務提携しています。

えるぼし認定(2つ星)取得

女性活躍推進に関する取組みの実施状況が優良である事業所に対して、都道府県労働局から認定される「えるぼし認定」を取得しています。当金庫は、「継続就業」・「労働時間等の働き方」・「多様なキャリアコース」の3つの評価基準を満たし、2つ星の認定を受けています。



小児がん寄付企画への参加

保険商品の販売を通じて、小児がんなどの難病の子どもと、ご家族のための宿泊施設(ペアレンツハウス)の運営に対して、寄付を行う企画に参加しています。

